

男女共同参画推進室ニュースレター

olive • heart



休日出勤時の託児を実施します

今年度も託児所の空いていない休日出勤日に、お子様をお預かりいたします。ご利用希望の方は、行事ごとの締切日までに、申込用紙を男女共同参画推進室までご提出ください。事務職員の方も利用できます。(協力:託児ボランティアあゆみ)

詳しくはHPをご覧ください。

[http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/]



	実施行事	会場	お預かり時間	申込締切
1	幸町学祭 11/1(土)	幸町キャンパス 男女共同参画推進室	8:30~17:00	10/27(月)
2	幸町学祭 11/2(日)			
ധ	推薦入試 11/22(土)	幸町キャンパス 男女共同参画推進室	8:30~18:30	11/17(月)
4	推薦入試 11/23(日)			
5	センター入試 1/17(土)	宗教法人薬王寺	7:00-10:00	10/10(会)
60	センター入試 1/18(日)	経済学部・東向い	7:00~19:00	12/19(金)



目次:

休日出勤時の託児について1
香大っこサポーター養成講座 報告2
オープンキャンパス相談コーナー
託児体験実習報告4



香大っこサポーター ってなに ??

香大っこサポーターとは、香川大学の教職員や大学院生等の子どもたち「香大っこ」をみんなで育んでいくためにお手伝いしてくださる学生さんのことです。

サポートは託児を中心にお願いしており、子どもの預かりボランティアを通して仕事と子育ての両立や育児の大変さを少しでも体験してもらう目的で行っています。

香大っこサポーター 活躍の様子





報告 2014.7.23 香大っこサポーター養成講座

日時:平成26年7月23日(水)13:30~16:00

● ● ● ● ● 香大っこサポーター養成講座報告書 ● ● ● ● ● ●

場所:北3号館1階313教室

参加者:5名(男性:2名 女性3名/法学部:3名 経済学部2名)

7月23日(水)幸町キャンパスで「香大っこサポーター養成講座」を実施し、5名の学生が出席しました。

まず副室長の石井教授から、男女共同参画の意義や子育てについてのお話や、昨年度までの香大っこサポーターの活動紹介がありました。また、個人情報・秘密の保持についての注意事項と傷害保険の説明がありました。

その後、昨年度香大っこサポーターに登録し、活躍してきた教育学部2年生の瀧本さん、伊藤君、安藝君から、昨年度の活動状況や、困ったこと、楽しかったこと、学んだことなどが紹介されました。今年度の受講生からの質問にも答えてくれました。













今年も託児ボランティアあゆみの梶ヶ谷真知子さんを講師としてお招きし、ご自身の子育て、託児ボランティアの紹介、お母さんから預かる時の注意点などをおうかがいしました。託児を引き受ける場合、危険を予測すること、子どもの様子を見逃さないこと、上手にコミュニケーションをとれることが必要ということで、受講生同士でコミュニケーションゲームも行いました。

15時からは、いよいよ本物の親子の登場となり、5組の親子とのふれあいがはじまりました。8ケ月から2歳までの5人の子どもたちと大学生が、梶ヶ谷さんが持ってきてくださったたくさんのおもちゃや絵本とともに楽しい時間を過ごしました。それと同時に医学部からお借りした妊婦体験ジャケットと新生児の人形も合わせて体験することになり、せっかくの機会ということで、受講生全員が妊婦体験ジャケットを身に付けました。皆それ自体の重さにとても驚いていました。中には、妊婦体験ジャケットのみならず、ずっしり重いマザーズバッグを肩にかけ、そして2歳のお子さんを抱っこするという、2人目妊娠中の状況を体験をさせていただいた学生もいました。

8月10日が予定日のお母さんと8カ月のお母さんもおられ、育児休暇も話題に上がり、2人目の妊娠という状況を想像してみる、など貴重な体験になりました。

報告 2014.8.7 オープンキャンパスで相談コーナー設置

8/7(木)にオープンキャンパスを訪れる女子中高生にむけて、女子大 学院生・女子学部生が窓口に立ち、女子中高生が相談しやすい窓口を設置 しました。男女共同参画推進委員の協力のもと、生き生きと研究・学業に 取り組む女性たちに出会い、学部の様子や研究の一端に触れることで、進 路選択の幅を広げ、自信の可能性について考える機会とする目的で毎年実 施しています。

経済学部

経済学部では、11:30~14:00に、 現役女子学生が相談に応じ、53名の高 校生が訪れました。内容は、入学後の 学生生活や授業・勉強に関する相談、 入試対策に関する質問、寮に関する問 い合わせなど多岐にわたりました。高 校生の香川大学で学びたいという強い 意志が感じられました。女子学生は和 やかな雰囲気を作り、丁寧に相談に応 じていました。相談者の95.2%が「不 安は解消された」と回答しており、満 足度も5点満点が90%、残り10%も4 点の採点で、とても好評でした。

農学部

農学部では12:30~15:30に、 4人の女子大学院生が相談を受けまし た。今年は場所が4階と離れていたに も関わらず、3時間の間に15名の学 生、数名のご父兄が相談に来られまし た。入試、学生生活、研究生活、就職 先の進路、など多岐にわたって相談を 受けました。今年は女子高校生のみな らず男子学生の相談もありました。ア ンケート回答によると相談を受けた高 校生は皆満足度は高く進路選択の参考 になったようです。県外からの参加者 の相談が多かったように感じました。









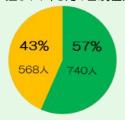






輝く女性研究者・卒業生が掲 載されたロールモデル集を女 子中高生に手渡しました。 女性研究者もいいかも・・・ と進路の選択の一つとなった かもしれません。

> 経済学部学部生男女別割合 (2014年5月1日現在)



■女子 ■男子



農学部学部生男女別割合 (2014年5月1日現在)



■女子 ■男子

農学部女子大学院生の比率



2014.10.1 香大っこサポーター託児体験実習

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ● ● 香大っこサポーター託児体験実習報告書◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ● ● ●

日時: 平成26年10月1日(水) 10:00~15:00

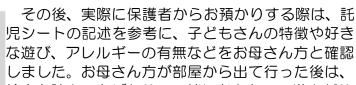
場所:集団療法室(北8号館2階)

参加者:4名(男性:2名 女性2名/教育学部:2名 法学部2名)

7月23日(水)に幸町キャンパスで実施した「香大っこサポーター養成講 座 説明会」に続いて、10月1日(水)「香大っこサポーター託児体験実 習」が行われました。これは、香大っこサポーターの個別の託児に備えて、 指導者が見守る中、実際の乳幼児の預かりを通して、具体的な託児技術を習 得することを目的に行いました。

国分寺子育て広場「ぶんぶん」を利用する保護者の方々にご協力いただ き、託児ボランティアあゆみの代表 梶ヶ谷眞知子さんとスタッフの方のご 指導のもと、香大っこサポーターは11ヵ月から3歳までの5名の乳幼児の託 児を体験しました。

始めに、託児をする上での環境作りやおもちゃの出し方などで気をつけ るべきことを教えていただきました。また、「子どもたちは、遊んであげる よりも、一緒に遊んでくれる人が好きなので、子どもたちと接するときは一 呼吸置いてから子どもたちの要求に応えてあげればいい」とアドバイスをい ただきました。



絵本を読んであげたり、一緒におもちゃで遊んだりするサポーターがいる一 方、泣き出してしまう子どもに戸惑うサポーターもおり、それぞれが一生懸命 に子どもと向き合い頑張っていました。

お昼の時間は、みんなで一緒にお弁当を食べ ました。お昼の後は、眠たくなり泣き出してし まった子どもを辛抱強くあやして寝かしつけた り、初めてのおむつ替えに挑戦したりしまし た。午後からは、最初なかなか遊んでくれな かった子どもとも打ち解け、みんなで楽しく過 ごすことができました。

サポーターからは、「初めての経験でしたの で、どのように子供たちと接すれば良いのか分 からず、最初はなかなかコミュニケーションを 取れませんでした。しかし、他の方々がされて いることを見よう見まねでやっていくうちに、少 しずつ子供たちとの遊び方が分かっていった様な 気がします。」、「ご飯を食べさせたりおしめを 変えたりなど今後の自分の子育てにも生かせる良 い経験ができました。」、「とても楽しい時間を 過ごせました。こどもたちの不安を理解して、そ

れぞれの子に合わせた対応をするのが難しかったです。勉強になりまし た。」との感想があり、大変有意義な体験をすることが出来ました。 ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**~**















香川大学 男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1 北5号館1階

TEL: 087 (832) 1055

内線:1055

FAX: 087 (832) 1057

http://www.kagawa-u.ac.jp/ sankaku/

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp